

第2章 来訪者の動向調査

2-1. 来訪者調査の目的と実施概要

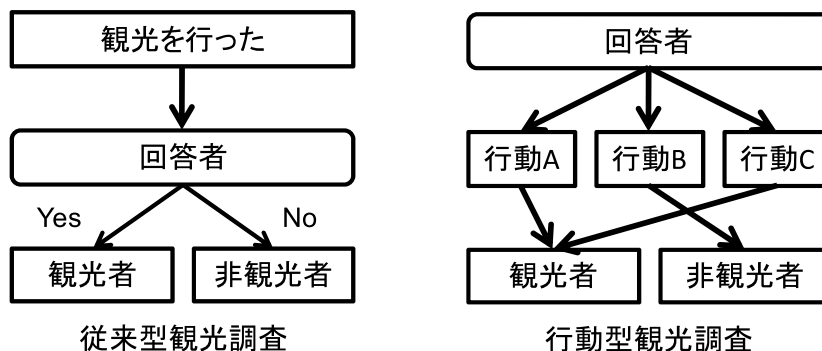
(1) 調査の目的

都市地区にあって多彩な魅力をもつ本区においては、浅草の天ぷらや雷おこしといった「食」、上野のアメ横、演芸や芸術の鑑賞など、「まちにある人やモノ」に触れることを目的として、「非日常」ながらも、一定の頻度でリピートする来訪者も少なくないと考えられる。従来型の観光調査では、アンケート票の回答者が自身の来訪目的を「観光」と考えるか否かによって、その来訪者が「観光客」であるかを判断してきた（図 2.1）。しかし、本区に来訪者は、過去の調査でも明らかであるが、比較的近隣から来訪している割合が高い。これらの来訪者は、演芸を楽しんだり、天ぷらを食べたりと、遠方からの「自覚のある観光客」と同様の行動をしているにも関わらず、主観的な観光意識が持ちにくいので「観光統計調査」の分析対象からは漏れる場合があった。

そこで本区では、平成 20 年度「観光マーケティング調査」より、来訪者自身が台東区内でどのような行動（アクティビティ）を行ったかを調査するアンケートを実施し、その行動特性に応じて観光者を判断する手法を採ることで、年間観光客数の推計を試みている。

今回の調査は、前回調査の手法を踏襲して、平成 22 年 1 月 1 日～12 月 31 日までの期間を対象とした本区における観光客数や消費金額の推計を目的とする。

図 2.1 従来型観光調査と行動型観光調査の比較



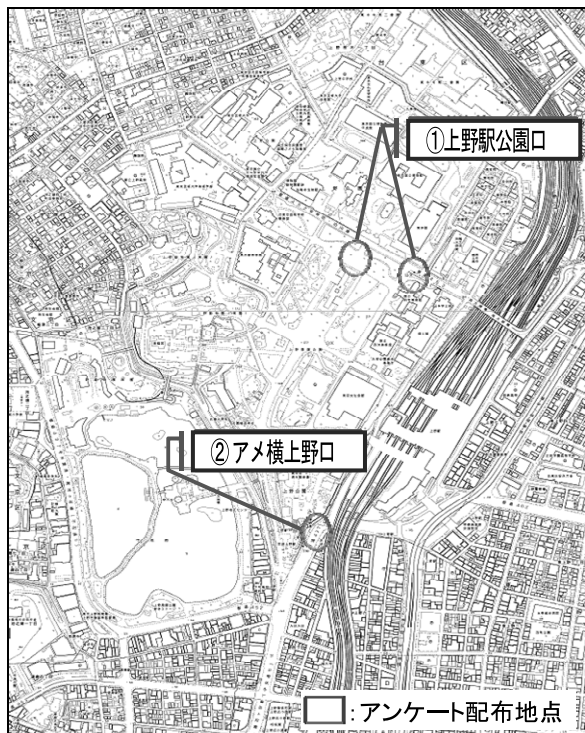
(2) 調査の概要

① 調査対象地区

来訪者調査は、上野地区・浅草地区の来訪者を対象にしたアンケート形式で実施し、図 2.2 に示した調査地点で来訪者に直接手渡しで配布し、後日郵送回収することにした。

上野地区では、①上野駅公園口、②アメ横上野口付近でそれぞれ配布した。また、浅草地区では、①伝法院通りと②宝蔵門付近で配布した。

①上野地区



②浅草地区



図 2.2 調査票配布地点

② 調査日時

調査票を配布した日時は、表 2.1 に示した通りであり、前回（平成 20 年度）調査と同時期に設定した。なお、各日とも、午前 9 時～午後 5 時（上野地区は、午前 10 時～午後 6 時）が配布時間帯であるため、全体の歩行者（母集団）に対する通勤・通学者の割合は低いと考えられる。

表 2.1 調査日時

対象地区	調査実施日	天候	時間帯
上野	平成 22 年 10 月 6 日（木）	晴れ	10:00～18:00
	10 月 7 日（金）	晴れ	
浅草	平成 22 年 10 月 4 日（火）	くもり	9:00～17:00
	10 月 5 日（水）	晴	
	10 月 10 日（日）	雨	

③ 調査内容

来訪者調査では、上野・浅草地区の来訪目的や当該地区で実際にとった行動などを把握するため、以下のような項目について質問した（表 2.2）。

※両地区の調査票は参考資料に収録した。

表 2.2 調査項目・内容

調査項目	調査内容
①各地区の来訪目的	・上野・浅草各地区を来訪した主要目的
②各地区でとった行動	・各地区でとった行動(行動別に有無を質問) ・飲食・買物に関する特別な意図の有無 →「行きたかった店」で「買いたかった(飲食したかった)商品」を購入したか否か
③1日の行動について	・一日の行動を開始した場所から上野・浅草地区を訪れるまでの行動 ・上野・浅草地区を出発して、一日の最後に到着した場所までの行動
④外出について	・台東区内で立寄った観光施設 ・一年間で台東区と上野・浅草地区に訪れた回数 ・上野・浅草地区に関する情報源 ・今回の外出(おでかけ)に関する消費額
⑤外出の同行者	・今回の外出(おでかけ)の同行者の種類および人数
⑥個人属性	・回答者の性別、年代、職業、通勤通学先の住所、居住地の住所

(3) 配布・回収状況および回答者属性

① 配布・回収状況

上野地区における調査票の回答者数は、2日間合計で377人であり、配布者数(約1,200人)の約3割を占めた。

浅草地区における調査票の回答者数は、3日間合計で320人であり、配布者数(約1,500人)の2割強を占めた。

② 回答者属性

回答者の性別(無回答者含む)は、上野地区では男性が25.5%と女性が65.5%、浅草地区では男性が24.7%と女性が63.4%になり、両地区ともに女性の方が多くの割合を占める結果となった。

回答者の年齢層は、両地区ともに、56歳から65歳までの属性が最も高い割合を占めており、56歳から74歳までの年齢層が両地区とも過半を占めた(表 2.3)。

回答者の居住地は、回答者の住所を表 2.4 に示した類型で集計した。両地区ともに南関東各県からの来訪が全体の4割を占めた。上野地区が主に南関東各県から来訪するのに対し、浅草地区の方は来訪圏域が広い(表 2.5)。

表 2.3 回答者の年齢層

年齢層	上野地区		浅草地区	
	N	割合	N	割合
～25歳	6	1.6%	11	3.4%
26～35歳	24	6.4%	26	8.1%
36～45歳	23	6.1%	35	10.9%
46～55歳	46	12.2%	51	15.9%
56～65歳	118	31.3%	91	28.4%
66～74歳	115	30.5%	72	22.5%
75歳～	36	9.5%	31	9.7%
不明	9	2.4%	3	0.9%
計	377	100.0%	320	100.0%

表 2.5 回答者の居住地

年齢層	上野地区		浅草地区	
	N	割合	N	割合
台東区	6	1.6%	7	2.2%
周辺5区	21	5.6%	4	1.3%
その他特別区	115	30.5%	42	13.1%
東京都特別区外	37	9.8%	12	3.8%
南関東各県	154	40.8%	130	40.6%
1都3県外	36	9.5%	120	37.5%
不明	8	2.1%	5	1.6%
計	377	100.0%	320	100.0%

表 2.4 居住地の分類

分類	説明
台東区	台東区内の居住者
周辺5区	周辺5区(千代田・中央・文京・荒川・墨田の各区)の居住者
その他特別区	上記の6区を除く東京都特別区の居住者
東京都特別区外	東京都各市町村の居住者
南関東各県	千葉県・埼玉県・神奈川県
1都3県外	上記以外の居住者

2-2. 上野・浅草地区における来訪者の行動と特性

(1) 上野・浅草地区における来訪者行動

① 調査対象とした活動目的

本年度の調査では、上野・浅草両地区の来訪者（回答者）が実際にとった行動を把握した。具体的には、表 2.6 に示した各活動目的別に実施の有無を調査した。

表 2.6 本調査で把握した活動

① 職場への出勤・学校への通学
② 職場外の業務・商用・出張
③ 食事・喫茶
④ 買物
⑤ 芸術鑑賞【上野のみ】
⑥ 動物園見学【上野のみ】
⑦ 寺社参拝【浅草のみ】
⑧ 大衆演劇・落語の鑑賞【浅草のみ】
⑨ 花やしき来園【浅草のみ】
⑩ 散歩・散策
⑪ その他私用（通院・塾・習い事）

② 活動目的別実施率

上野・浅草地区の来訪者が実際にとった行動について、表 2.6 に示した活動目的別に実施率（各目的の有効回答者に占める「おこなった」と回答した者の割合）を示す（表 2.7）。

各地区の実施率は；

上野地区：食事・喫茶（77.5%）、散歩・散策（70.0%）、芸術鑑賞（67.9%）。

※平成 20 年度調査：芸術鑑賞（80.2%）、食事・喫茶（63.7%）、散歩・散策（53.0%）。

浅草地区；寺社参拝（86.6%）、買物（79.4%）、散歩・散策（76.6%）、食事・喫茶（73.4%）。

※平成 20 年度調査：ほぼ同じ実施率である。

表 2.7 活動目的別実施率

①上野地区

活動の種類	N	実施率
b. 食事・喫茶	292	77.5%
i. 散歩・散策	264	70.0%
a. 芸術鑑賞（博物館・美術館）	256	67.9%
c. 買物	167	44.3%
d. 動物園見学	53	14.1%
e. イベント参加	21	5.6%
g. 職場への出勤・学校への通学	17	4.5%
h. 職場外への業務・商用・出張	14	3.7%
f. 親戚訪問・友人訪問	13	3.4%
j. その他私用（通院・塾・習い事）	13	3.4%

②浅草地区

活動の種類	N	実施率
a. 寺社への参拝	277	86.6%
c. 買物	254	79.4%
j. 散歩・散策	245	76.6%
b. 食事・喫茶	235	73.4%
e. 大衆演劇・落語の鑑賞	21	6.6%
d. 花やしきへ来園	15	4.7%
f. イベント参加	12	3.8%
g. 親戚訪問・友人訪問	10	3.1%
i. 職場外への業務・商用・出張	7	2.2%
h. 職場への出勤・学校への通学	6	1.9%
k. その他私用（通院・塾・習い事）	6	1.9%

(N=697)

(2) 調査日における来訪者の行動

① 調査日前後の宿泊

上野・浅草両地区の来訪者が、調査日（調査票を受け取った当日）の前後に宿泊を伴っているかについて集計した（表 2.8）。

両地区ともに、調査日当日の「日帰り」と回答した来訪者が大半を占めた。

特に上野地区では「日帰り」する来訪者が95.2%で、浅草は69.4%である。

表 2.8 調査日前後の宿泊

調査項目	上野 (N=377)	浅草 (N=320)
①日帰り	359 (95.2%)	222 (69.4%)
②前泊(調査日前日のみ宿泊)	12 (3.2%)	65 (20.3%)
③後泊(調査日当日のみ宿泊)	4 (1.1%)	10 (3.1%)
④連泊(調査日前日・当日の宿泊)	2 (0.5%)	23 (7.2%)

上野・浅草両地区の来訪者が宿泊した先を市区町村別に集計したものが表 2.9 である。浅草地区の来訪者では、台東区内に宿泊した回答者が最も多くなった一方で、上野地区の来訪者は、全体的に宿泊者が少なかった。

表 2.9 来訪者の宿泊先（市区町村別集計）

①上野地区

宿泊地	前泊	後泊	計
台東区	3	2	5
その他特別区	5	1	6
多摩地域	1	1	2
千葉県	2	1	3
うち浦安市			0
神奈川県		1	1
埼玉県	1		1
1都3県外	2		2
不明・車中泊			0
宿泊者サンプル計	14	6	

②浅草地区

宿泊地	前泊	後泊	計	
台東区	19	9	28	
その他特別区	港区	10	4	14
	江東区	7	1	8
	中央区	6	2	8
	豊島区	4	2	6
	渋谷区	5		5
	品川区	4		4
	その他	7	3	10
多摩地域	1	3	4	
千葉県	9	5	14	
うち浦安市	4	1	5	
神奈川県	5	3	8	
埼玉県	2		2	
1都3県外	2		2	
不明・車中泊	7	1	8	
宿泊者サンプル計	92	34		

② 来訪者の他地区立ち寄り割合

上野・浅草地区の来訪者のうち、両地区に訪れた前後で他地区に立ち寄った割合について集計した(表 2.10)。

上野・浅草地区の来訪前後に、他地区に立ち寄った来訪者の割合は、浅草地区、74.7%、上野地区、48.3%、それぞれの地区を訪れる前後で他地区に立寄っている。

表 2.10 来訪前後の他地区への立ち寄り

調査項目	上野 (N=354)	浅草 (N=293)
①立ち寄りなし	183(51.7%)	74(25.3%)
②来訪前のみ立ち寄り	49(13.8%)	77(26.3%)
③来訪後のみ立ち寄り	86(24.3%)	66(22.5%)
④来訪前・後とも立ち寄り	36(10.2%)	76(25.9%)

上野・浅草地区を来訪する前後の立ち寄り先を集計した。(図 2.3～2.4)

いずれも自宅近隣をはじめとした「その他」が多いが、上野・浅草両地区の相互移動(上野浅草の回遊性平均値)は回答者の約13%であった。今回調査より、平成24年春開業予定の「東京スカイツリー」建設現場への来訪について選択肢に加えた。

結果は浅草地区の来訪者の立ち寄り先として最も選ばれていることが判明した。

図 2.3 上野地区来訪前の立ち寄り先

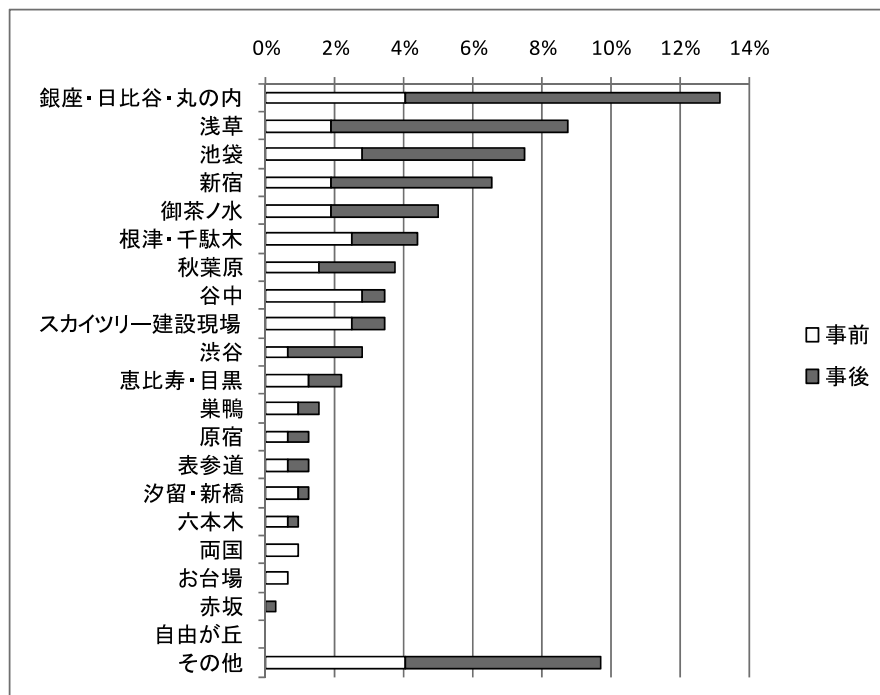
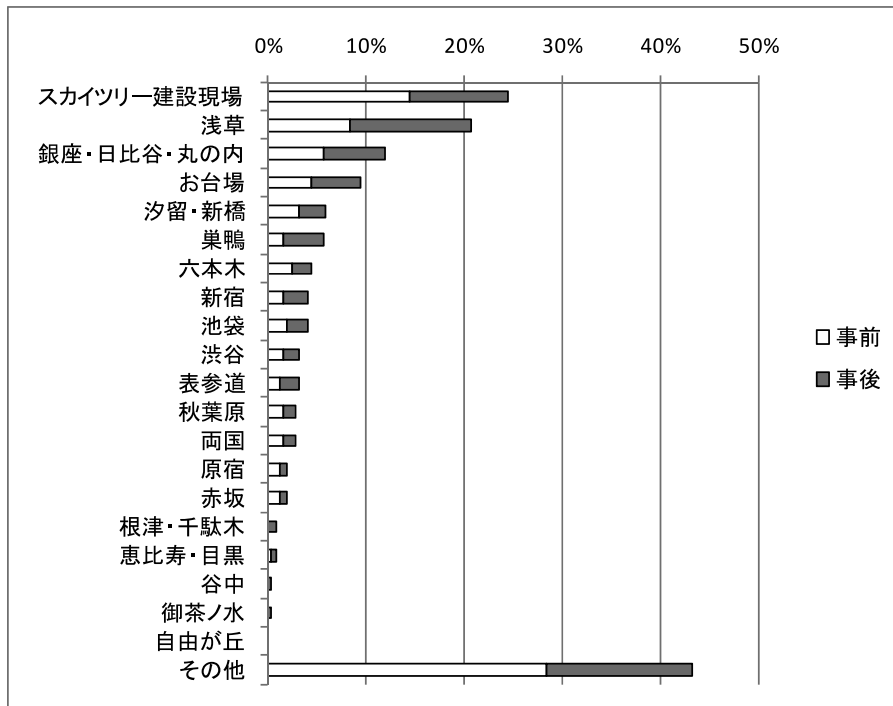


図 2.4 浅草地区来訪前の立ち寄り先



台東くん